

---

# SSB/SCB T-10 ハードウェア セットアップガイド

Rev. 1.1

2017.03.29

---

## 目次

1	ハードウェア仕様.....	1
1.1	ハードウェア仕様.....	1
1.2	付属品.....	1
2	外観.....	2
2.1	前面.....	2
2.2	背面.....	3
3	IPMI インターフェースの設定手順.....	4
3.1	BIOS セットアップ画面を表示する.....	4
3.2	IPMI の設定を行う.....	5
3.3	ネットワークの設定.....	6
3.4	設定情報の保存.....	6
4	ラックへの装着作業前の事前注意事項.....	6
4.1	ラック作業前の注意事項.....	6
4.2	一般的なサーバーに関する取扱注意事項.....	6
4.3	ラックへの装着手順.....	7
4.3.1	ラックレール.....	7
4.3.2	ロックングタブ.....	8
4.3.3	内側シャーシレールを外側レールから取り外す.....	9
4.3.4	内側シャーシレールを製品に取り付ける.....	10
4.3.5	外側レールをラックに取り付ける.....	11
4.3.6	製品をラックに装着する.....	12
5	ブートデバイスの変更手順.....	13
5.1	BIOS セットアップ画面を表示する.....	13
5.2	BOOT デバイスを変更する.....	14
5.3	変更した設定の保存.....	15

---

## 1 ハードウェア仕様

### 1.1 ハードウェア仕様

BalaBit 社 T-10 は、下記のハードウェアで構成されています。

高さ	2U
HDD	SAS 1 TB x13
電源	アイドル時:106W、負荷時:987W AC 100-240v、50-60Hz、13-4Amp 冗長化電源
Ethernet ポート	Ethernet ポート x5 (IPMI を含む)
USB ポート	(背面) x2
ディスプレイコネクタ	VGA ポート
キーボードコネクタ	PS/2 キーボードコネクタ
マウスコネクタ	PS/2 マウスコネクタ

表1-1 T-10 ハードウェア仕様

### 1.2 付属品

電源ケーブル 2 本

ラックマウントキット 1 セット

## 2 外観

### 2.1 前面

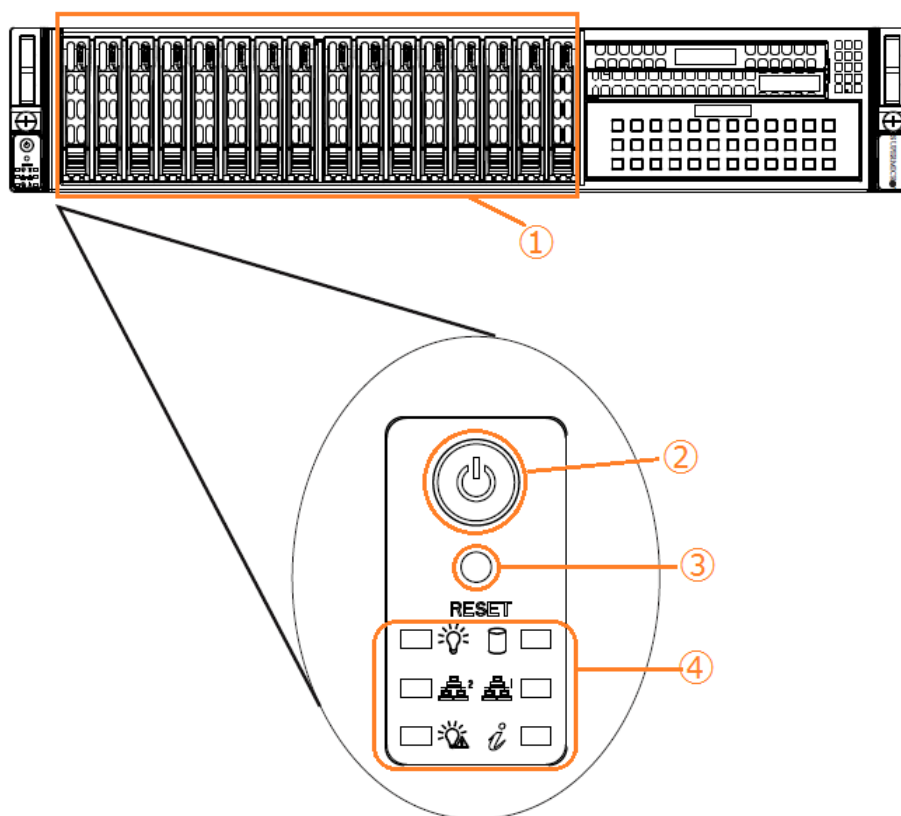


図2-1 前面パネル

- ① HDD
- ② 電源スイッチ
- ③ リセットスイッチ
- ④ 状態表示 LED



NIC: ネットワークにアクセスしている時に点滅します。



HDD: ハードディスク等記憶装置にアクセスしている時に点滅します。



電源: 電源装置から電力が出力されていることを示します。使用中は点灯しています。



電源障害：電源に異常が見つかった場合に点灯します。



情報 LED

状況	説明
赤色点灯	オーバーヒートが発生
赤色点滅 (1Hz)	ファンの故障 故障ファンを確認してください。
赤色点滅 (0.25 Hz)	電源異常 異常のある電源を確認してください。
青色点灯	識別用ユニット ID ローカルで設定 ラック内のサーバーの識別に使用します。
青色点滅(300 ミリ秒)	識別用ユニット ID IPMI で設定 ラック内のサーバーの識別に使用します。

## 2.2 背面

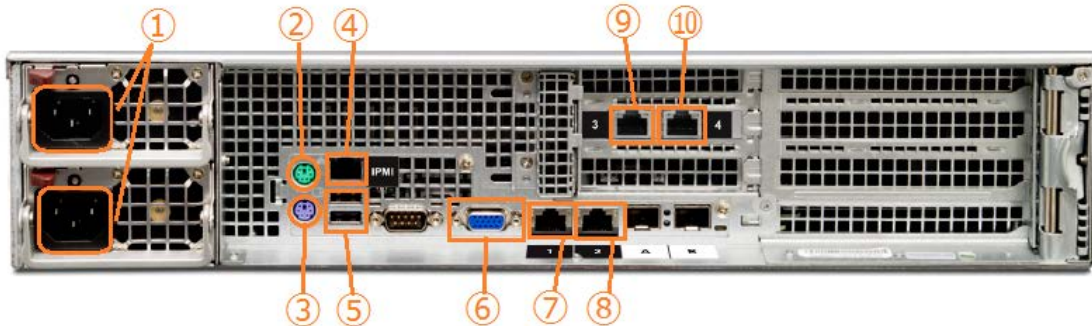


図2-2 背面

- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| ① 電源コネクタ                          | ⑥ VGA ディスプレイコネクタ   |
| ② PS/2 マウスコネクタ                    | ⑦ LAN Port1 (Ext)  |
| ③ PS/2 キーボードコネクタ                  | ⑧ LAN Port2 (MGMT) |
| ④ IPMI インターフェース<br>(Ethernet ポート) | ⑨ LAN Port3 (INT)  |
| ⑤ USB コネクタ                        | ⑩ LAN Port4 (HA)   |

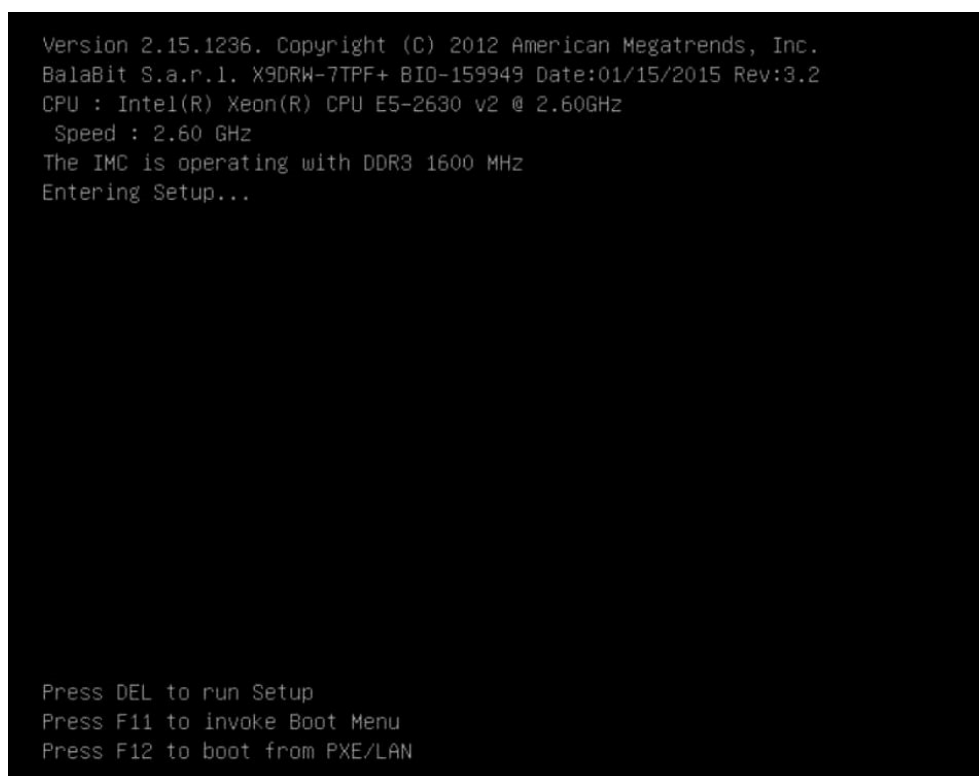
---

### 3 IPMI インターフェースの設定手順

IPMI インターフェースを使用すると、リモートよりシステムの状態を確認することができ、また、仮想 CD-ROM にアクセスできます。ここでは、IPMI インターフェースの設定手順を説明します。

#### 3.1 BIOS セットアップ画面を表示する

Boot の初期画面で、**DEL** キーを押します。



```
Version 2.15.1236. Copyright (C) 2012 American Megatrends, Inc.  
BalaBit S.a.r.l. X9DRW-7TPF+ BIO-159949 Date:01/15/2015 Rev:3.2  
CPU : Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2630 v2 @ 2.60GHz  
Speed : 2.60 GHz  
The IMC is operating with DDR3 1600 MHz  
Entering Setup...  
  
Press DEL to run Setup  
Press F11 to invoke Boot Menu  
Press F12 to boot from PXE/LAN
```

図3-1 Boot の初期画面

Boot が進み、BIOS の設定画面が表示されます。  
上部メニューより、**IPMI** を選択します。

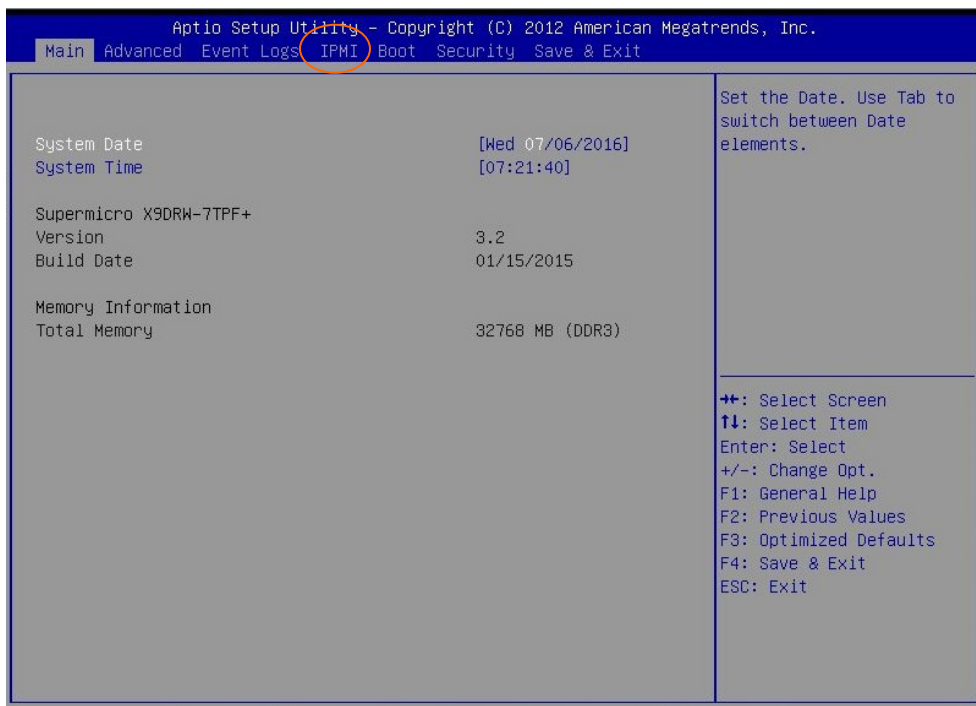


図3-2 BIOS 設定変更画面

### 3.2 IPMI の設定を行う

[Update IPMI LAN Configuration]を選択し、[Yes]にします。

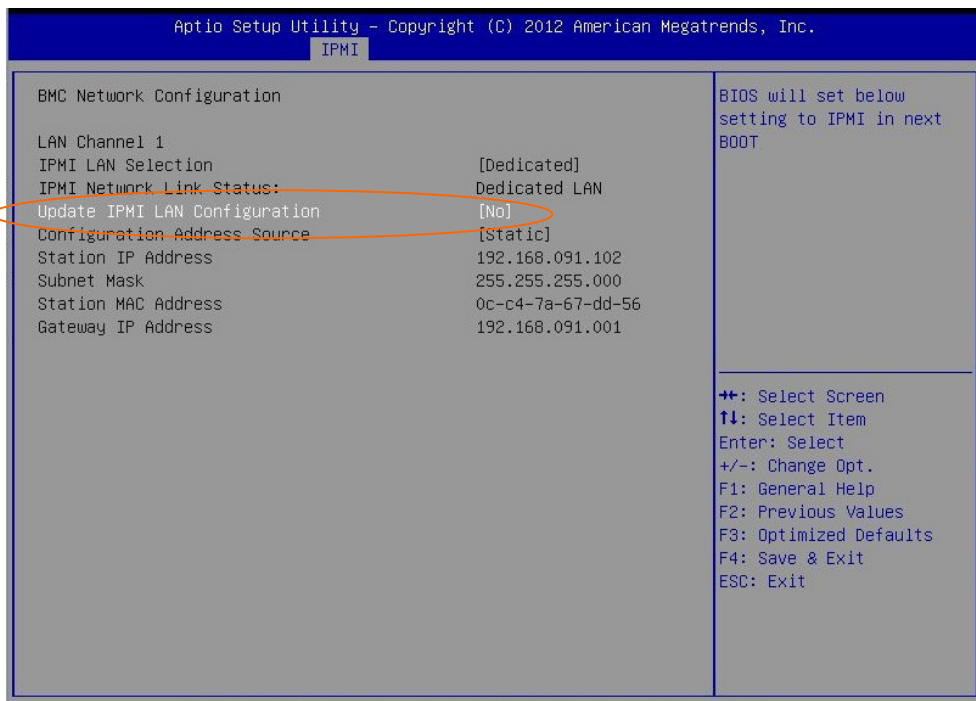


図3-3 IPMI 設定画面

### 3.3 ネットワークの設定

IPMI インターフェースの IP アドレスとデフォルトゲートウェイの値を入れます。

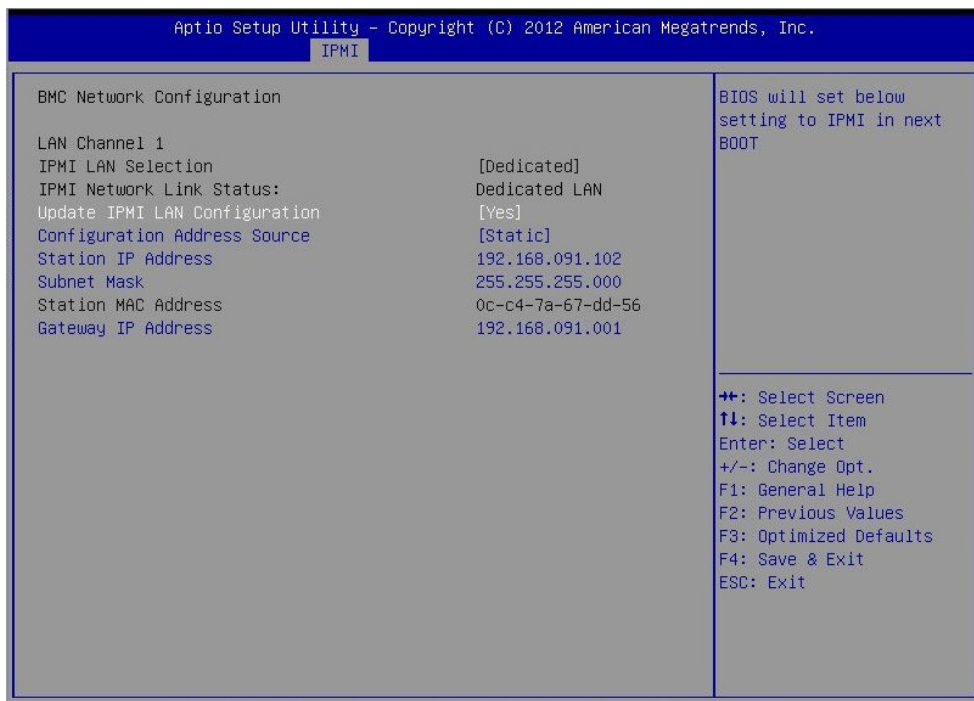


図3-4 IPMI のネットワークアドレス設定画面

### 3.4 設定情報の保存

F4 を押して設定を保存します。

## 4 ラックへの装着作業前の事前注意事項

### 4.1 ラック作業前の注意事項

- ラックの下面にあるレベルジャッキにより、ラックを確実に固定する
- 単体ラックの場合、動揺制止装置を装着する
- 複数のラックが導入されている場合は、ラック同士を結合する
- ラックから製品を引き出す場合には、ラックが安定状態であることを確認する。
- ラックより製品を引き出す際には、同時に複数の製品を引き出さない

### 4.2 一般的なサーバーに関する取扱注意事項

- 事前に、ラックに設置されている装置に関する電気と安全に関する注意事項を確認する



- 
- ラックにレールを装着する前に、各製品の設置位置を決める
  - 重たい製品は下方に設置する。また、下から設置するようにする
  - サーバーを、電源を原因とする障害から保護するために UPS の使用を検討する
  - hot plug 関連の装置を外す際には、熱くないことを確認してから作業をする
  - 冷却のため、ラックのドアやサーバーのカバー等は閉めておく

### 4.3 ラックへの装着手順

BalaBit T-10（高さ 2U）は、17 インチラックに装着可能です。ここでは、ラックへ装着する際の手順について説明します。

ラックは、様々なメーカーより発売されています。製品によって、少しずつ違いがありますので、ラックに付属の説明書も参照ください。

注意： 付属のレールは、奥行きが 26.5 インチから 36.4 インチのラックに利用できます。

この製品には、2種類のレールアセンブリーとラックマウントキットが付属しています。各レールアセンブリーの装着手順は、二つのセクションからなります。製品本体に装着する内側シャーシレールとラックに装着する外側ラックレールのセクションです。

#### 4.3.1 ラックレール

この製品はラックマウントキットが付属しています。ラックマウントキットは、2本のレールアセンブリーが付属しています。各レールアセンブリーは、三つの部品から構成されています。シャーシに固定される内側シャーシレール、ラック側に固定される外側レール、外側レールから延ばされる中間レールです。これらのレールアセンブリーは、右側用と左側用があります。

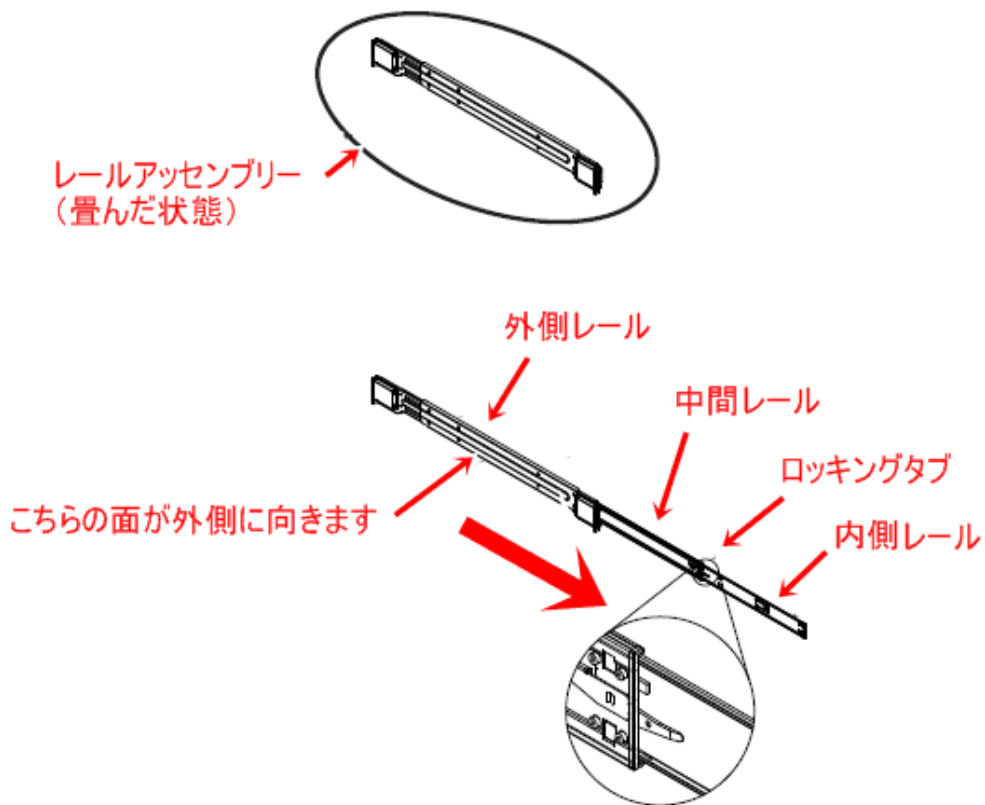


図4-1 レールアセンブリー (左側レールアセンブリー)

#### 4.3.2 ロックングタブ

それぞれの内側レールには、ロックングタブがついています。ロックングタブは、シャーシがラックに完全に入れられた時にロックします。また、シャーシをラックから引き出した時に、ロックし、シャーシの落下事故を防止します。

### 4.3.3 内側シャーシレールを外側レールから取り外す

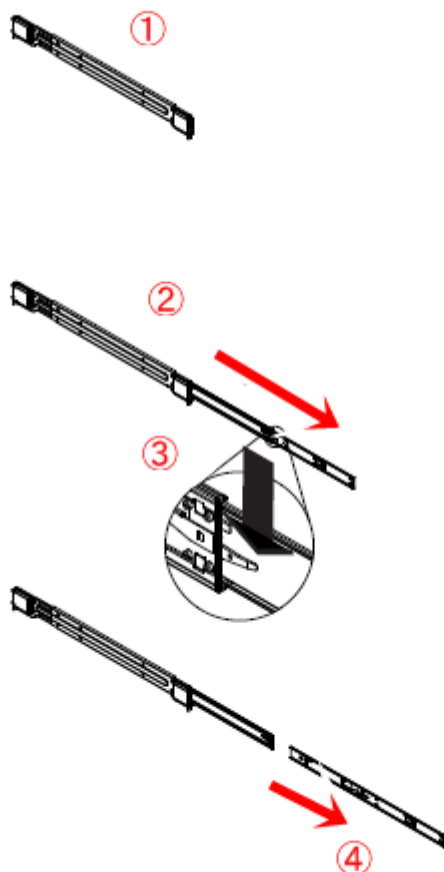


図4-2 ラックレール

1. 右側用のレールアセンブリーか左側用のレールアセンブリーか、図4-1を参考に判別しておきます。(①)
2. 内側シャーシレールと中間レールを外側レールから完全に延ばし(②)、ロックングタブを押しながら(③)、内側シャーシレールを完全に取り出します(④)。
3. もう一つのレールアセンブリーについても同様の作業を行います。

#### 4.3.4 内側シャーシレールを製品に取り付ける

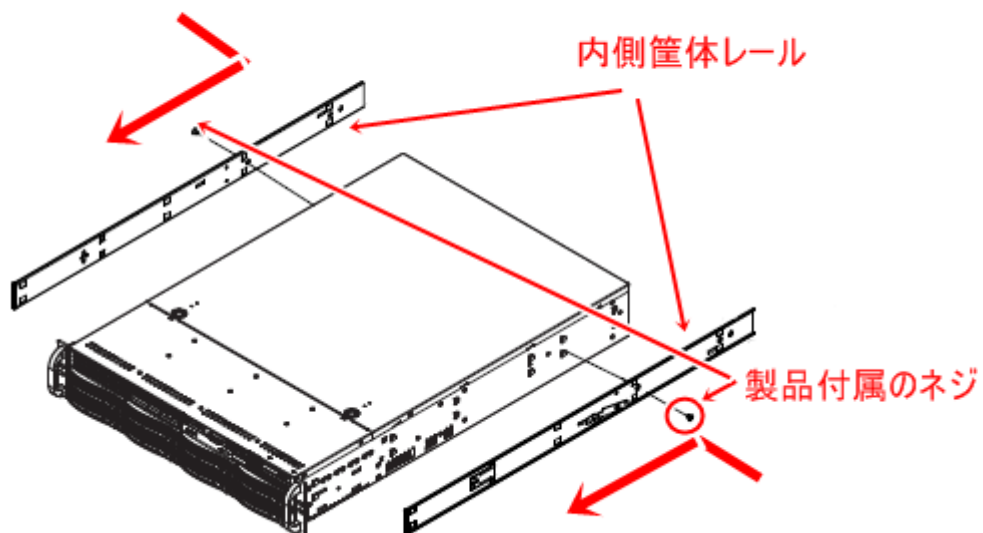


図4-3 内側シャーシレールの取付け

1. 内側シャーシレールの右側用と左側用の確認をします。
2. シャーシ側面のフックの位置と内側シャーシレールにある穴の位置を合わせます。
3. 内側シャーシレールをシャーシ前面方向に、ロックされるまでスライドさせます。
4. 内側シャーシレールを製品付属のネジにて、シャーシに固定します。
5. もう一つのレールについても同様の作業をおこないます。

### 4.3.5 外側レールをラックに取り付ける

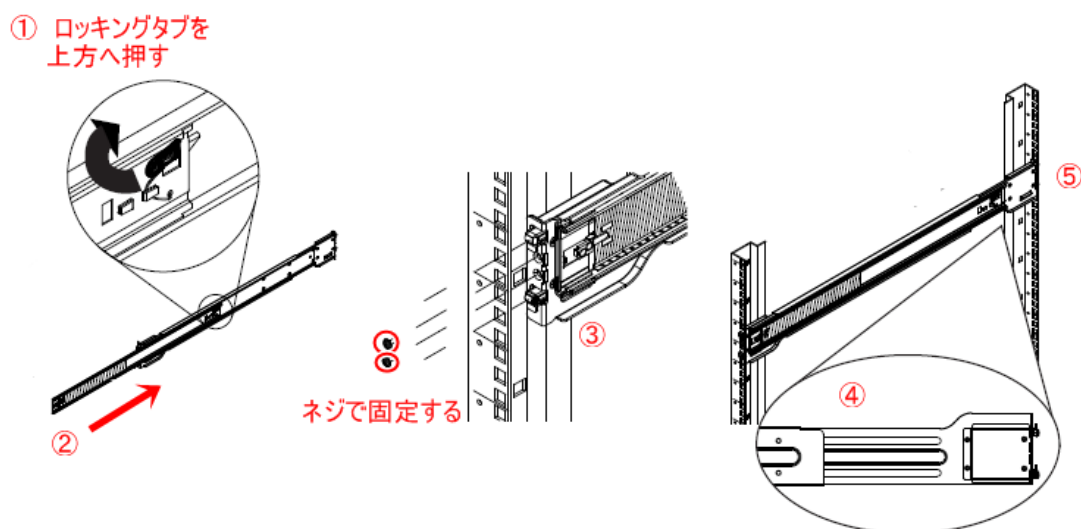


図4-4 外側レール

1. 中間レールの後部にあるロッキングタブを上方に押し上げます(①)。そのまま、中間レールを外側レール内へ押し込みます(②)。
2. 外側レールの前面フックをラックの固定位置に合わせて(③)、ネジで固定します。
3. 外側レールを後方に伸ばし(④)、ラックの位置にあわせた後、ネジで固定します(⑤)。
4. もう一つの外側レールについても同様の作業を実施します。

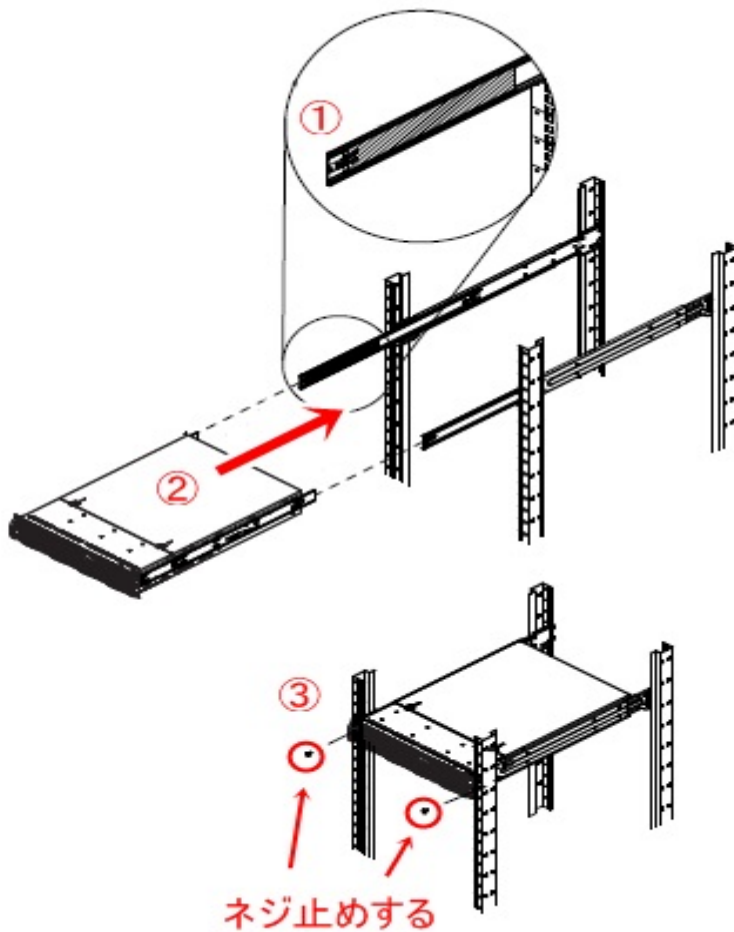


図4-5 ラックへの取付け

#### 4.3.6 製品をラックに装着する。

1. 製品に内側シャーシレールが、ラックに外側レールが、正しく取付けられていることを確認します。
2. 中間レールを外側レールから引き出します。中間レールの固定位置までボールベアリングシャトルが来ていることを確認します。
3. 内側シャーシレールを中間レールに挿入します。内側シャーシレールのロックングタブが中間レールの前面でロックするまで入れます(②)。(シャーシをラックより引き出した時の位置になります。)
4. 両側のロックングタブを同時に押しながらシャーシを完全に中まで入れます(③)。
5. 必要に応じて、ネジにてサーバー前面をラックに固定します。

---

## 5 ブートデバイスの変更手順

仮想 CD-ROM よりブートする場合、ブートデバイスの順序を変更する必要があります。ここでは、ブートデバイスを仮想 CD-ROM に設定する手順を紹介します。

### 5.1 BIOS セットアップ画面を表示する

Boot の初期画面で、**DEL** キーを押します。

```
Version 2.15.1236. Copyright (C) 2012 American Megatrends, Inc.  
BalaBit S.a.r.l. X9DRW-7TPF+ BIO-159949 Date:01/15/2015 Rev:3.2  
CPU : Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2630 v2 @ 2.60GHz  
Speed : 2.60 GHz  
The IMC is operating with DDR3 1600 MHz  
Entering Setup...  
  
Press DEL to run Setup  
Press F11 to invoke Boot Menu  
Press F12 to boot from PXE/LAN
```

図5-1 Boot の初期画面

Bootが進み、BIOSの設定画面が表示されます。

上部メニューの Boot を選択します。

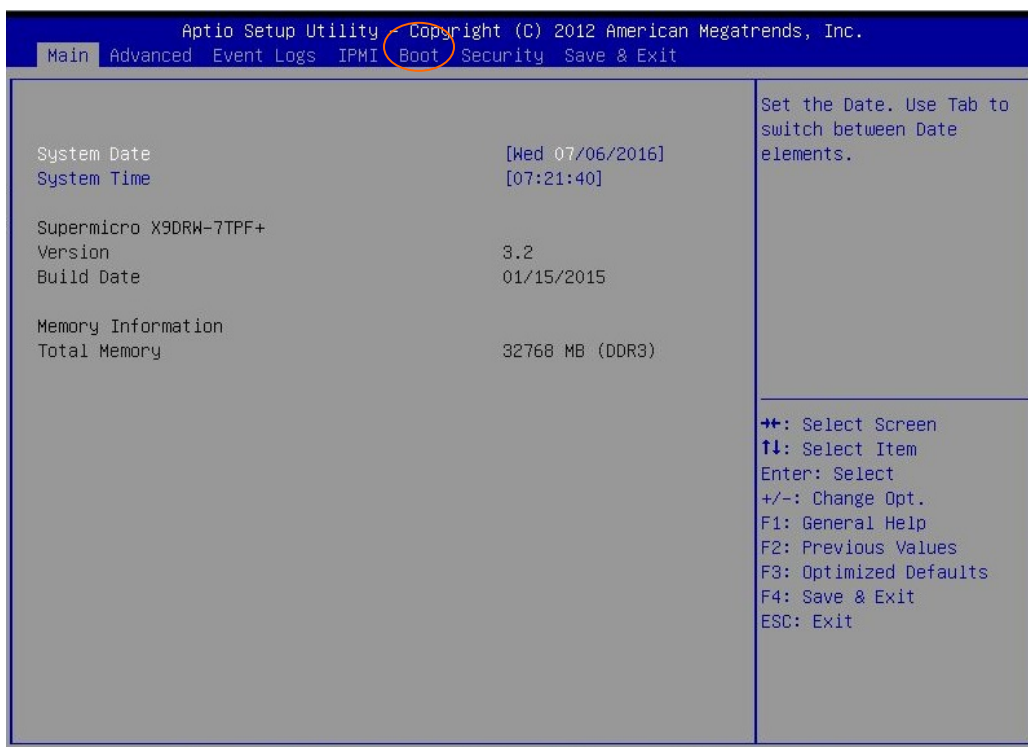


図5-2 BIOS 設定画面

## 5.2 BOOT デバイスを変更する

Boot Device を設定します。

1. 1st Boot Device に **IPMI Virtual CDROM** を選択します。
2. 2nd Boot Device に **Hard Disk** を選択します。



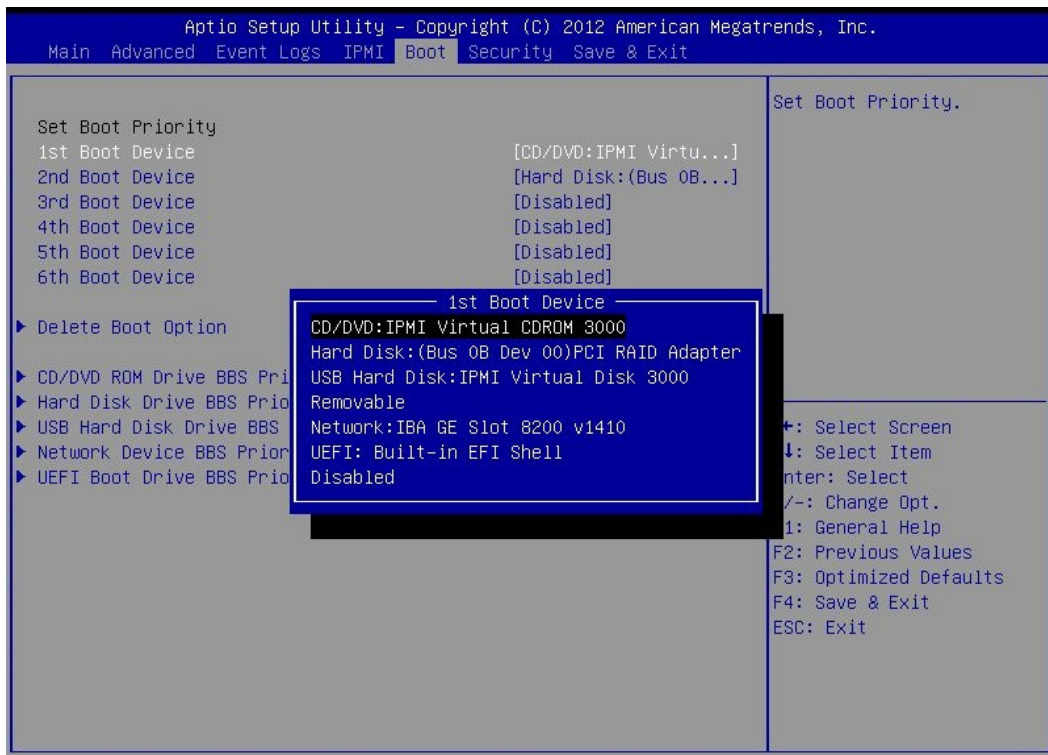


図5-3 BOOT デバイス設定画面

### 5.3 変更した設定の保存

1. F4 を押して変更した設定を保存します。

---

日本語マニュアル発行日 2016年12月01日  
本マニュアル参照元は『SC219 Chassis Series USER'S MANUAL 1.0』です  
ジュピターテクノロジー株式会社